

医学系研究に関する情報公開文書

研究課題名	NST 介入時におけるシスプラチン腎症発症要因の解明
研究責任者	加藤 明彦
研究機関名	栄養部
研究目的と意義	頭頸部および食道がん患者は、シスプラチンをベースにした化学療法（3 コース）＋放射線治療が標準的治療である。しかし、シスプラチンは腎毒性が高いため、急性腎障害（acute kidney injury, AKI）を発症しやすい。従って、AKI の発症リスクの高い患者群をあらかじめ抽出し、AKI 発症を予防することが必要となる。本研究では栄養サポートチーム（NST）による栄養介入を受けた頭頸部および食道がん患者を対象に、シスプラチン腎症の発症リスクを栄養学的観点から後ろ向きに明らかにする。
研究期間	西暦 2016 年 6 月（倫理委員会承認後） ～ 2021 年 3 月
研究方法	<p>● 対象者：</p> <p>2013 年以降、シスプラチンによる化学療法（3 コース）＋放射線療法が行なわれ、かつ主治医から NST 介入依頼があった者。ただし、CKD ステージ G4 以上の腎機能低下者は除く。</p> <p>● 研究に使用する試料：</p> <p>(1) NST 介入を行った入院期間中の検査データ</p> <p>● 研究方法：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本研究は観察研究である。 ・ 解析対象者を AKI の発症の有無に群別し、各検査項目値（栄養学的身体計測指標、生化学的栄養指標、一日食事摂取量）を集計し、両群における栄養指標の差異を解析する。 ・ 3 コースのシスプラチン治療終了時の推算 GFR を算出し、慢性的な腎機能低下に対する影響因子を後ろ向きに解析する。
問い合わせ先	〒431-3125 浜松市東区半田山一丁目 20 番 1 号 浜松医科大学医学部附属病院 診療科：栄養部 担当者：加藤明彦 電話：053-435-2612、FAX：053-435-2611 E-mail：a.kato@hama-med.ac.jp